

## 第1回ゾーン別検討会（駅前ゾーン）でのおもな意見など

- 日時 2007/7/11（水）  
19:00～21:15
- 会場 地域福祉センター
- 参加 地元 23名  
行政 6名  
コンサル 3名



### テーマ1 塩屋駅前の将来のあり方

#### 議論のポイント① 商店街を活性化する方法

- ・集客につながる手立ては？
- ・人口が増え、商業も右肩あがりになるように。
- ・商業が活性化したまちづくりの事例を知りたい。
- ・塩屋の人が塩屋で買物をする魅力をつくれればいいと思う。

#### 議論のポイント② 今の商店街の形態を維持していくのか、それとも変えていくのか？

- ・今の商店街は残したままで。商店街を活かした考え方で。
- ・全面変更するのではなく今の街をうまく残し商店も活性するまちづくりが必要。
- ・駅にEV等を設置するにはリニューアルが必要。  
⇨駅との動線は関係ないように思う。
- ・地域住民のニーズと店主の希望にギャップがあると思う。
- ・小売店のない町は意味がないように思う。
- ・共同建替えはむずかしい。できたとしても、共益費など、その後の運営が無理だと思う。

#### 議論のポイント③ 送迎、来街の自動車の動線をどう設定するのか？

- ・回転地を確保するなら塩屋多井畑線沿い（高架の北西側）が現実的なのは。
- ・回転地は駅前から少し離れたところが良い。
- ・回転地は塩屋多井畑線に面したところにつくるべき。
- ・大きいロータリーでなくてよい。  
⇨どうせならバスが回転できる規模が良い。
- ・車社会でしかたないが、まず人間優先のまちづくりを！
- ・公共的な車はいいが、私的な車は減らすべきだ。
- ・道路開発に付随して駅前はどうあるべきか、議論すべき。

### テーマ2 都市計画道路・塩屋多井畑線のあり方

#### 議論のポイント① 地区の道路に対する基本的な考え方

- ・車優先ではだめ。人の安全を考えて。歩行者の安全確保。車よりも歩行者優先道路を。

#### 議論のポイント② 歩道のあり方

- ・片方の歩道にしても良い。⇨両側に必要。
- ・同じ幅が続く必要はない。
- ・車椅子などの増加を考えれば歩道は広い方がよい。
- ・電線の地中化などで有効幅員を確保。

#### 議論のポイント③ 車道のあり方

- ・車がすれ違える幅がなくてもよい。  
⇨どうせつくるなら広い道がよい。
- ・都市計画決定されているのだから、このままの計画でよい。
- ・中野センターあたりから北と南とで状況がちがう。
- ・車の量自体を減らすことも考えてみるべき。

#### 議論のポイント③ 拡幅の影響

- ・車がスピードを出す、危険。  
⇨歩道や路肩が広ければ大丈夫では？
- ・交通量の増加につながる。
- ・地域外の車の抜け道として使われる。
- ・路上駐車が増えるのでは。
- ・まちが分断される可能性がある。